

研究発表会プログラム (○印は講演者)

【口頭発表】

第1日 [10月9日(水)] 第1会場

特別セッション 令和6年能登半島地震災害調査団報告
14:20-17:20

1. 調査団の経緯と調査概要
○大谷 具幸 (岐阜大学)
2. 災害地質班報告：土砂災害
○千田 敬二 (災害地質WG 班長, 八州)
3. 令和6年能登半島地震災害調査団 応用地形班活動報告
○小俣 雅志 (パスコ)・令和6年能登半島地震災害調査団 応用地形班
4. 令和6年能登半島地震災害調査団報告④環境地質小班報告：環境への影響—盛土造成地の被害—
○船山 淳 (パシフィックコンサルタンツ)・大谷 晃 (八千代エンジニアリング)・佐伯 佳美 (ダイエーコンサルタント)
5. 能登半島地震「土木構造物の被災状況」
○片山 政弘 (熊谷組)・能登半島地震災害調査団土木地質班
6. 火山委員会班報告：火山地質との関係
○太田岳洋 (山口大学)・日本応用地質学会令和6年度能登半島地震災害調査団火山委員会班
7. 石川・富山班報告：液状化・土砂災害などの石川・富山地域災害
○加藤 靖郎 (川崎地質)・能登半島地震災害調査団中部支部班
8. 新潟県内における令和6年能登半島地震の被害と特徴
○佐藤 壽則 (日さく)・能登半島地震災害調査団北陸支部班
9. 中止
10. 土砂災害の法的指定によるハザードマップの適用性と地質構造の重要性
○稲垣 秀輝 (環境地質)

第1日 [10月9日(水)] 第2会場

特別セッション アジア地域の自然災害に継続的にかかわる応用地質の将来 ～ジオハザードとオープンデータへの期待～ 14:20-16:00

11. 【招待講演】 Environmental Open Data from Science to Understanding Risk

- Thomas Chin-Tung Cheng (ThinkTron Ltd.)
12. 【招待講演】 Landslide Susceptibility Assessment Using GeoAI and Open Data: A Case Study of the 2018 Iburi Earthquake-Induced Landslides in Hokkaido, Japan
○Kounghoon Nam1, Youngkyu Lee, Myoung-Young Choi (Research & Development Strategy Team, Fire Insurers Laboratories of Korea)
13. 中止
14. 【招待講演】 Challenges and Opportunities of Open Data Utilization for Geohazard and Geo-risk Assessment in Bangladesh
○ Mahmuda Khatun, A.T.M. Shakhawat Hossain (Jahangirnagar University)
15. 【招待講演】 Development of Geological Hazards Information System towards the Integrated Geohazards Database in East and Southeast Asia
○ Shinji Takarada, Joel Bandibas, Yuhki Kohno, Shuho Maitani, Emi Kariya, Misato Osada and Fumihiko Ikegami (Geological Survey of Japan, AIST)

特別セッション 理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから Part2 16:10-17:40

16. 都市開発に欠かせない応用地質学
○北田 奈緒子 (GRI 財団)
17. 地盤工学が考える応用地質学との連携の必要性
○三村 衛 (GRI 財団)
18. 3次元地質・地盤モデリングと Building Information Modeling (BIM) における応用地質学と地盤工学の協働の可能性について
○和田 里絵 (応用地質)

第2日 [10月10日(木)] 第1会場

土木地質(1) 9:00-10:45

19. 蛇紋岩分布地域のトンネル地山における電気及び電磁探査の複合解析による比抵抗分布とその掘削で判明した地質性状
○岡崎 健治・山崎 秀策・倉橋 稔幸 (寒地土木研究所)
20. ミリ波振動可視化レーダーによるトンネル切羽モニタリング (その2) —坑内での設置要件および計測結果と切羽地質との対応—
○西 琢郎・岩城 英朗・多田 浩幸 (清水建設)
21. 山岳トンネルにおける支保パターン変更の要因分析
○須藤 大智・矢島 良紀・品川 俊介・菊地 浩貴 (土木研究所)
22. 北海道の国道トンネルにおける漏水発生状況に関する

る分析

○吉野 恒平・倉橋 稔幸・岡崎 健治(寒地土木研究所)

23. トンネル掘削発破においてマイクロフォンにより測定された発破音とジオフォンにより測定された振動の周波数特性について

○大沼 和弘(東北大学)・佐々木 淳・井ノ口 拓郎(安藤ハザマ)

24. 最高被熱温度による山岳トンネルの地山評価の可能性について

○望月 一磨・今井 啓文・石川 太郎(鉄道・運輸機構)・関山 優希・山本 由弦(神戸大学)・西金 佑一郎・浦越 拓野(鉄道総合技術研究所)・上野 光(鉄道・運輸機構)

25. 各種溶液によるスレーキング抑制効果に関する検討

○西金 佑一郎(鉄道総合技術研究所)・石田 良二・橋本 みゆき(ジェイアール総研エンジニアリング)

26. アンカー変状が認められた道路法面でのアンカー健全度・地質調査事例

○望月 敦人・根岸 拓真・堀谷 秀則・西 俊憲(基礎地盤コンサルタンツ)

土木地質(2) 10:55-12:00

27. 吹付モルタル斜面の安定性評価事例

○望月 浩司(基礎地盤コンサルタンツ)

28. 弾性波探査による風化の速い切土のり面の安定性評価の推移事例

○田中 慎吾(基礎地盤コンサルタンツ)

29. X線回折分析による高速道路盛土における空洞発生要因の検討事例

○田中 由美子・中西 智哉・太田 雅之(大日本ダイヤコンサルタンツ)・笹本 直之・石橋 円正(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京)

30. 比抵抗トモグラフィによるフィルダム盛立材料調査

○中島 亮・片山 政弘・土屋 任史(熊谷組)

31. 硫化鉱物を含有する大規模切土区間における酸性化評価事例

○村松 樹・河又久雄・長谷川怜思・樋口明良(八千代エンジニアリング)

特別セッション 自然災害伝承碑から解き明かす地域災害 15:50-17:35

32. 【招待講演】自然災害伝承碑プロジェクトの第二ステージへの期待

○川崎 茂信(元国土地理院長, 国土技術研究センター)

33. 研究部会の自然災害伝承碑の活動報告

○千田 敬二(八州)・下村 博之(パスコ)

34. 九州支部での自然災害伝承碑の活動報告

○梅崎 基考(アバンス)・九州災害碑 WG(九州支部)

35. 北海道支部での自然災害伝承碑の活動報告

○倉橋 稔幸(寒地土木研究所)・北海道自然災害史研究ワーキンググループ(北海道支部)

第2日 [10月10日(水)] 第2会場

環境地質・社会貢献 9:00-10:45

36. 土研式雨水曝露試験と短期溶出試験, 酸性化可能性試験による岩種毎の自然由来重金属等の溶出特性の分析

○佐藤 真・品川 俊介・昆 周作(土木研究所)

37. pHによる自然由来重金属等の溶出特性の違いとその原因

○昆 周作・佐藤 真・品川 俊介(土木研究所)

38. 蛇紋岩中のホウ素の存在形態及び溶出メカニズム

○村尾 駿太郎・太田 岳洋(山口大学)

39. 地質技術者の訴訟対応—最終処分場と宅地開発

○大野 博之(地質工学社)

40. 讃岐ジオパーク構想を通じたアウトリーチ活動

○長谷川修一・鶴田聖子(香川大学)

41. 自然災害伝承碑内容の可視化への試行—小豆島神懸通地区で昭和51年に発生した台風被害について—

○猪股 雅美(香川大学)

42. 中山間地域における地形解析による豪雨時危険箇所の可視化

○野々村 敦子(香川大学)・多田 智貴(東京都立大学大学院)・柳内 守・殿谷 梓・古谷 勇人(三好ジオパーク構想推進協議会)・西山 賢一(徳島大学)・長谷川修一(香川大学)

43. 秋田県における地震地すべり発生の危険度予測(その2)

○安藤 翔平・田中 頼博・荻田 茂・林 一成・阿部 真郎(奥山ボーリング)

地形・地質一般(1) 10:55-12:00

44. 栃木県産大谷石(中新世凝灰岩石材)の塩類風化のプロセス

○横山 俊治・藤田 勝代(深田地質研究所)・加藤 孝幸(アースサイエンス)

45. 甚之助谷地区の効果的な地下水排除工位置選定のための帯水層の把握

○山田 彬人・千葉 伸一・松本 芳起・山根 百花・清水 豊(応用地質)・本田 正和※・甚田 隆光・野村 治

宏 (国土交通省 金沢河川国道事務所 ※現・国土交通省能登復興事務所)

46. 九重火山中～西部における地形の開析度による形成史の検討
○福岡 仁至・太田 岳洋・辻 智大 (山口大学)
47. 花崗岩類の冷却割れ目と貫入境界の構造的関係―愛媛県高月山岩体の例―
○加藤 弘徳 (荒谷建設コンサルタント)・千木良 雅弘 (深田地質研究所)
48. 花崗岩体の内部構造とその応用地質学的意義
○千木良 雅弘 (深田地質研究所)・加藤 弘徳 (荒谷建設コンサルタント)

地層処分 15:50-17:35

49. コンクリーション化による岩盤亀裂および断層のシーリング実証試験研究 (3)
○吉田 英一・山本 鋼志・浅原 良浩・刈茅 孝一 (名古屋大学)・齊藤 朱音 (積水化学工業)・松井 裕哉・望月 陽人 (日本原子力研究開発機構)
50. コンクリーション化によるシーリング特性を応用した高レベル放射性廃棄物の埋設孔への適用性検討
○城 まゆみ・藤村 竜也・長峰 春夫 (大成建設)・松本 晃治 (積水化学工業) 山本 鋼志・浅原 良浩・刈茅 孝一・吉田 英一 (名古屋大学)
51. マイクロカプセル型コンクリーション化剤による原位置シーリング実証試験
○石橋 正祐紀・山下 慧・前島 俊雄・升元 一彦 (鹿島建設)・竹内 真司 (日本大学)・吉田 英一・刈茅 孝一・山本 剛志・浅原 良浩 (名古屋大学)・松本 晃治 (積水化学工業)
52. コンクリーション化剤を用いた高透水層のシーリング実証試験
○竹内 真司 (日本大学)・石橋 正祐紀 (鹿島建設)・吉田 英一・刈茅 孝一・山本 鋼志・浅原 良浩 (名古屋大学)・前島 俊雄 (鹿島建設)・松本 晃治 (積水化学工業)
53. 地殻内流体の移動におけるマイクロクラックの重要性: 放射性廃棄物の地層処分, 地熱開発, 二酸化炭素の地中貯留との関連
○竹下 徹 (東北大学総合学術博物館 協力研究員)
54. 付加体中の水理地質構造―長野県大鹿村における事例研究
○楠原 文武・大山 隆弘・幡谷 竜太・濱田 崇臣 (電中研)
55. EDZ 調査における評価の観点と地質データの有効性
○大泉 涼・加藤 猛士・荒井 良祐 (川崎地質)・木村

駿・武田 匡樹 (日本原子力研究開発機構)・八木 啓介 (大成建設)

56. ボアホールジャッキ試験を用いた岩盤応力測定手法
○相澤 穂高 (川崎地質)・大野 宏和 (JAEA)・川久保 昌平 (安藤ハザマ)・加藤 猛士・大泉 涼・知念 千佳 (川崎地質)

第3日 [10月11日 (金)] 第1会場

土质地質 (3) 9:00-10:05

57. ハイパースペクトルカメラを用いたスメクタイトの定量判定技術の評価
○長谷 陵平・吉河 秀郎・淡路 動太 (清水建設)・中川 清森・清水 桜 (地圏総合コンサルタント)・大竹翼・奈須野 恵介 (北海道大学)
58. マルチスペクトルカメラを用いたダム基礎掘削面における岩盤評価の検討事例
○窪島 光志・榊原 信夫 (川崎地質)・黒田 卓也・白武 知浩・水野 直希 (西松建設)
59. 岩盤分類におけるハイパースペクトルイメージングの応用
○大岩 和暉・片山 政弘・石濱 茂崇 (熊谷組)
60. 軟岩を基礎とするダムの施工時基礎岩盤評価について
○山浦 亮一・綿谷 博之 (建設技術研究所)・丸田 満弘・坂本忠義 (鹿児島県土木部)
61. ダム基礎掘削面の岩盤評価方法の変遷
○清水 公二 (清水麓駈技術士事務所)

土质地質 (4) 10:15-11:35

62. 掘削孔径がボーリングコア品質に及ぼす影響
○山下 大輔・神崎 裕 (中央開発)
63. 大井川水系寸又川を対象とした岩質による土砂供給過程の違いに関する研究
○本多 太一・藤井 幸泰 (名城大学)・齋藤 杏菜・棚橋 舞大・村上 怜 (元名城大学)
64. 基礎杭工事中に実施した支持層3次元モデルのリアルタイム更新事例
○石濱 茂崇 (熊谷組)
65. 様々な強度試験を用いた亜炭層における強度評価
○安部 純平・浅野 侃哲・藤井幸泰 (名城大学)
66. 阿蘇火砕流堆積物の非溶結部におけるプレッシャーメータ試験の適用について
○香取 祥人・山下 隆之・梅崎 基考 (アバンス)
67. FEM 解析を用いた岩盤亀裂進展による崩壊現象の再現検討

○日外 勝仁・坂本 尚弘・川又 基人・倉橋 稔幸 (寒地土木研究所)

災害地質(1) 12:40-14:25

68. 活断層沿い地すべり移動体の地形・地質的特性把握
○伊藤 賢太郎・藤井 幸泰 (名城大学)・尾崎 裕太・五味 享祐 (元名城大学)
69. 2023 年トルコ・シリア地震におけるトルコ国内での鉄道構造物の被害状況と防災機能強化に向けた取り組み
○外山 真 (国際協力機構)・井谷 岳彦 (日本コンサルタンツ)・阿部 豊 (東日本旅客鉄道)
70. 地震動予測・液状化危険度予測の高精度化のための 50m メッシュ詳細微地形区分データ作成手法の開発ー南関東での適用例ー
○松山 尚典 (応用地質)・先名 重樹 (防災科学技術研究所)・稲垣 賢亮 (応用地質)・桑原 光平 (損害保険料率算出機構)
71. 概査による令和 6 年能登半島地震の山岳トンネル災害要因の考察
○西川 徹・須内 寿男・北村 暢章・上野 将司・中野 浩 (第一コンサルタンツ)
72. 令和 6 年能登半島地震による既存地すべりの再活動
○須内 寿男・西川 徹・北村 暢章・中野 浩・上野 将司 (第一コンサルタンツ)
73. 令和 6 年能登半島地震による斜面崩壊の多発と地殻変動
○辻 智大・山田 佑哉 (山口大学)
74. 令和 6 年能登半島地震による斜面崩壊箇所の地形・地質的特徴
○小寺 凌・浅井 健一・矢島 良紀 (土木研究所)
75. 地震に起因する地質災害発生機構ー令和 6 年能登半島地震の事象からー
○吉村 辰朗・呉 明暢 (第一復建)

災害地質(2) 14:35-16:20

76. 地質調査業務へのウェアラブルカメラの適用 GHG 削減および技術継承機会創出
○勝村 敏史・遠藤 司・小松 慎二・竹田 好晴 (応用地質)
77. 一般県道における点群データを活用した道路斜面の潜在的災害リスクの判読・評価事例
○新谷 広紀・田中 貴人・小野山 裕治・松本 翔・山本 奈穂・室井 翔太 (国際航業)・諸岡 裕幸・北村 賢一・北条 知記 (三重県)
78. 高速道路における点群データを活用した道路斜面の

潜在的災害リスク判読・抽出事例

- 小野山 裕治・田中 貴人・小野 尚哉・山本 奈穂・室井 翔太 (国際航業)・川原田 圭介・米未 哲之・小川 達矢 (西日本高速道路九州支社)
79. 点群地形データを利用した土石流発生・流下形態区分の事例
○木下 三郎 (日航コンサルタント)
80. 斜面崩壊警報システムとしての比抵抗モニタリング装置の開発と観測事例
○上原 大二郎・竹田 和弘 (中央開発)・上田 匠・與田 至門・宮本 虎之介 (早稲田大学理工学術院)
81. 豊水期と渇水期における地すべりブロックの比抵抗値の変化ー空中電磁探査を利用してー
○伊藤 健二・岡部 顕・橋本 拓弥・伊藤 悠太・野澤 玲奈 (日さく)・城森 明・十山 哲也 (ネオサイエンス)
82. シカの増加に伴う高知県香美市白髪山周辺の斜面での土壌侵食と微地形の変化
○本間 こぎと (高知大学)
83. 表層崩壊地域における土壌条件と微地形に関する考察
○竹田 拓己・太田 岳洋・辻 智大・國丸 泰平 (山口大学)・黒木貴一 (関西大学)・西山 哲 (岡山大学)・宮本新平・森川寛之 (中電技術コンサルタント)・山本道輔 (オーエスエー)

災害地質(3) 16:30-18:05

84. 地質構造に起因する崩壊が多発する付加体砂岩地域
○山崎 新太郎 (京都大学防災研究所)
85. 付加体地質中で起こった地すべり性崩壊の災害調査事例
○門谷 明弘・井原 拓二・味野 晴佳・前多 隆樹 (応用地質)
86. 石灰岩洞窟における崩壊要因の比較・検討
○乾 智美・辻 智大 (山口大学)・村上 崇史 (美祢市文化財保護課)
87. ハヶ岳火山 大月川岩屑なだれ堆積物に関する一考察
○長谷川 怜思・山本 晃・杉江 美織・大石 朗・鈴木 弘明・石丸 元気・菅野 萌子 (八千代エンジニアリング)
88. 防府市剣川支沢における土石流発生履歴に関する追加調査および年代測定
○納庄 毅 (所属無し)・辻 智大 (山口大学)
89. 上秋津区域の地すべりに関する水平型孔内伸縮計導入事例
中井 泰亮 (林野庁 近畿中国森林管理局)・久積 将史 (林野庁 森林整備部)・○福本 崇大・林 幸一郎・古

宮 一典・田中 智久 (応用地質)

90. 表層傾斜計による重力変形斜面の観測—長野県辰野町の美濃帯分布地域の例—
○松澤 真 (京都大学防災研究所)・菊地 輝行 (諏訪東京理科大学)

第3日 [10月11日 (金)] 第2会場

地形・地質一般(2) 9:00-10:05

91. 岩盤等級判定への AI 活用事例～先人の知見を AI で学習・可視化し、議論する～
○倉上 健・古木 宏和 (日本工営)
92. 紀伊半島付加体の深層崩壊に認められる節理と高角断層系による地質構造規制
○木村 克己・金子 誠 (深田地質研究所)・菊地 輝行 (諏訪東京理科大学)
93. 広島県における土石流規模と N 値の関係性
○山下 隼・藤本 潤・山口 浩司 (中電技術コンサルタント)
94. 剰余地図の特性と早津江川堤防の微小な地形変化の判読
○黒木 貴一 (関西大学)
95. 阿賀花立地すべりにおける 2 時期の点群データを用いた解析事例
○松永 京子・江村 剛・田中 倫久・草野 互 (村尾技建)

地形・地質一般(3) 10:15-11:35

96. 四国の平野部～地すべり地における微動探査事例
○大久 雅貴・露口 耕治・青野 涼音 (四電技術コンサルタント)・長谷川 修一・山名 稔・荒木 裕行・地元 孝輔・野々村 敦子 (香川大学)・池田 達紀 (九州大学)・長田 朋大 (ナイバ)
97. 考古学と融合した活断層調査の可能性について
○宮地 修一 (地研)・長谷川 修一 (香川大学)
98. 中止
99. 中止
100. 上ノ国町の松前層群 M5 の黒色珪質頁岩 (通称ブラックシリカ) の産状について
○檜戸 敬一郎・田中 由美子・岡崎 和彦・渡辺 一樹・田中 湧朔 (大日本ダイヤモンドコンサルタント)・角野 陽平 (加茂繊維)
101. 第四紀テフラの U-Th-Pb 年代測定 (その 10) : ジルコンの triple dating (U-Pb, Th-Pb, U-Th dating) の有用性
○伊藤 久敏 (電力中央研究所)

地下水 12:40-14:25

102. 地下石油備蓄基地における局所的な地下水位低下域に対する人工注水効果
○渡部 慶汰・山下 貢・西原 司・仙波 優平 (日本地下石油備蓄)・藤本 泰史 (地圏総合コンサルタント)・未永 弘 (電力中央研究所)・谷川 晋一 (JOGMEC)
103. 六甲山山頂部における地下水の水質分析事例
○伊東 陽希 (大日本ダイヤモンドコンサルタント)・橋本 志信・林 一郎 (兵庫県 神戸県民センター 六甲治山事務所)・鏡原 聖史・山口 奨之・岡崎 敬祐・池田 智博 (大日本ダイヤモンドコンサルタント)・富代 瑞穂 (国土防災技術)
104. 斜面の地下水面形状の検討 (その 1)
○磯村 敬 (八千代エンジニアリング)・森 啓悟 (建設技術研究所)・北村 涼馬 (日本工営)・清水 公二 (清水麓駆技術士事務所)・日本応用地質学会地下水研究部会 WG2
105. 斜面の地下水面形状の検討 (その 2)
○万木 純一郎 (建設技術研究所)・今井 久 (安藤・間)・澁谷 奨 (地圏総合コンサルタント)・村松 樹 (八千代エンジニアリング)・日本応用地質学会地下水研究部会 WG2
106. 北八甲田火山大岳溶岩の水文地質構造と水収支—その 1
○宮崎 精介・栢木 智明・寺本 光伸 (スイモン LLC)
107. 八甲田火山大岳溶岩の水文地質構造と水収支—その 2
○栢木 智明・宮崎 精介・一丸 博司 (スイモン LLC)
108. 切土計画箇所周辺の地下水流動機構の推定
○増山 孝行・鈴木 拓海・井上 公人・志賀 直樹 (国際航業)
109. 切土計画箇所における実測データのみを用いた塩水化懸念井戸の抽出手法
○鈴木 拓海・増山 孝行・井上 公人・志賀 直樹 (国際航業)
- 測量・計測 14:35-16:20
110. 衛星 SAR 画像を活用した地形変化箇所の調査事例
○小谷 健太・喜 里美・佐藤 洋平 (JR 東日本コンサルタント)・本田 謙一 (国際航業)
111. 衛星 SAR 画像及び光学衛星画像を用いた流域内変動斜面の抽出と素因傾向分析
○高橋 謙一・田中 学 (電源開発)・重岡 優希・小池 仁 (JPBS)・清水 則一 (山口大学)
112. 地震前後の航空レーザ測量地形データを用いた令和

6年(2024年)能登半島地震に伴う大規模斜面変動領域の動態区分

○高見 智之・本間 信一・向山 栄・武田 開・中原 毅
(国際航業)

113. 航空レーザ測量による標高差分解析を用いた地形変化箇所の調査事例

○谷田部 宏春・喜 里美・佐藤 洋平 (JR 東日本コンサルタンツ)

114. ドローン型空中電磁探査による複数時期の比抵抗構造変化の把握

○星野 弘明 (西日本高速道路)・野々村 敦子・大宿 陽輝・長谷川 修一 (香川大学)・城森 明・城森 敦善・十山 哲也 (ネオサイエンス)

115. コアを用いた室内 AE 試験法におけるしきい値設定の検討

○佐藤 稔・西本 壮志 (電力中央研究所)・森川 考司 (ジオデザイン)

116. 打撃時の振動データを用いた岩塊中の割れ目の状態把握手法の検討

○久河 竜也・野寄 真徳・浦越 拓野 (鉄道総合技術研究所)

117. 東海地方の人造石構造物について: 矢作川沿い枝下用水旧取水口の現況

○浅野 侃哲・藤井 幸泰 (名城大学)・岩本 優志・東 埜 克海 (元名城大学)

特別セッション 火山地域の応用地質 16:30-18:05

118. 【招待講演】14Ma 火成活動に伴う熱水変質作用と西南日本のネオテクトニクス

○長谷川修一 (香川大学)

119. 火山岩地帯の斜面崩壊を規制するキャップロック構造

○太田 岳洋 (山口大学)・仙石 南々海 (山口大学・現熊谷組)・末田 雄樹 (山口大学・現サンヨーコンサルタント)・山下 純平 (山口大学・現 JR 九州)・瀨本 佳那子 (山口大学・現 NEXCO 西日本コンサルタンツ)・江口 誠也 (山口大学・現九州電技開発)・瀧本 真理 (山口大学)

120. 令和6年能登半島地震で発生した大規模崩壊地の地形・地質の特徴

○瀧本 真理・太田 岳洋 (山口大学)

121. 水中火山岩類と令和6年能登半島地震崩壊の関係

○小坂 英輝 (環境地質)

122. 火山地域におけるドローン活用事例

○阪上 雅之 (日本航空)

123. 九重火山周辺の湧水・温泉水の水質形成機構の推定

○久保 佑佳 (山口大学・現アサノ大成基礎エンジニアリング)・太田 岳洋 (山口大学)・利部 慎 (長崎大学)・川上 千尋 (山口県環境政策課・現山口県環境政策課)

【ポスターセッション】

コアタイム 第2日 [10月10日(木)]

13:15-14:20

地層処分

P1. CO₂貯留サイトを対象とした動的解析に用いる入力加速度の検討

○江元 智子・堀川 滋雄 (サンコーコンサルタント)・楠瀬 勤一郎 (地球環境産業技術研究機構)・浅川 真也 (ダイヤコンサルタント)

P2. 堆積軟岩を対象とした高圧三軸圧縮試験

○堀川 滋雄 (サンコーコンサルタント)・竹村 貴人 (日本大学)・楠瀬 勤一郎 (地球環境産業技術研究機構)・浅川 真也 (ダイヤコンサルタント)

地形・地質一般

P3. 新第三紀堆積岩(葉山層群)の岩石組織と間隙特性: X線CT・水銀ポロシメータ・SEMを用いた検討

○濱田 藍・大山 隆弘 (電力中央研究所)

P4. X線CT撮影データを活用したボーリングコアの方位化の精度向上に関する試行事例

○杉山 直也 (J-POWER 設計コンサルタント)・持田 裕之 (電源開発)・池田 正道 (J-POWER 設計コンサルタント)

P5. 静岡県大井川流域及び駿河湾から採取された河川礫及び海浜礫の3次元礫形状データの取得とその比較
溝口 一生 (電力中央研究所)・○飯田 高弘・飯塚 幸子 (セレス)

P6. 岩石内部の応力場を知る -カルサイトマイクロセンサー入り供試体分析-

○瀧本秀男 (山口大学)

P7. 岩石・セメント材料の歪/応力の推定方法 -カルサイト双晶密度によるアプローチ-

○坂口有人 (山口大学)

P8. X線回折法によるスメクタイトの簡易定量法におけるブラインドプリディクションテスト

○高井 康宏 (エネコム)

P9. 天竜川中流部における凹地を伴う地すべり地形の形成年代

○平田 康人・小早川 博亮 (電力中央研究所)

P10. 急峻な海岸部に面した道路で発生した岩盤崩壊の調

査事例

○草野 互・江村 剛・田中 倫久・長谷川 和弘 (村尾技建)

P11. 菅原道真の上陸地周辺の海岸段丘による平安時代の瀬戸内海海水準

○木村 隆行 (エイト日本技術開発)

P12. 四国西部における高品質ボーリングコアを用いた未対比テフラの発見

○中村 千怜・長田 朋大 (ナイバ)・潮田 雅司 (四国総合研究所)・西坂 直樹・石川 慶彦・大西 耕造 (四国電力)

P13. ドローン型空中電磁探査と地形解析による斜面地下構造推定手法の検討

○大宿 陽輝・野々村 敦子・長谷川 修一 (香川大学)・田所 真路・野村 康裕 (四国山地砂防事務所)

P14. 沖縄県名護市で発生した高潮堆積物の特徴

○田中 姿郎・石毛 康介・伊藤 由紀 (電力中央研究所)

P15. 画像相関法による横ずれ断層変位アナログ実験で得られた水平変位量について

○井上 直人・北田 奈緒子 (GRI財団)

P16. 横ずれ断層における断層変位特性の非対称性に関する検討

○西坂 直樹 (四国電力・東京大学)・大西 耕造 (四国電力)・司 宏俊 (サイスマリサーチ)・池田 倫治 (四国総研)・辻 健 (東京大学)

P17. 石灰岩地域におけるサーマルセンサーを用いた空隙調査

○橋本 智雄・片桐 悟・石崎 貴幸 (中央開発)・菊池 正志 (日本洞窟探検協会)

災害地質

P18. UAV LiDAR と赤外線センサーの組み合わせによる地すべりブロック抽出の試み

○神崎 裕・犬飼 唯人・西村 修一・田中 風羽・片山 翔 (中央開発)

P19. ALOS-2 緊急観測画像を用いた令和 5 年台風第 7 号通過後の地表面変状箇所の判読事例

○高安 健太郎 (J-POWER 設計コンサルタント)・佐藤 麻衣・庄路 友紀子 (電源開発)・清水 則一 (山口大学)

P20. 山口県岩国市における斜面崩壊と土壌の形成に関する検討

○宮本 新平 (中電技術コンサルタント)・太田 岳洋・辻 智大・竹田 拓己 (山口大学)・黒木 貴一 (関西大学)・森川 寛之 (中電技術コンサルタント)

P21. 令和 6 年能登半島地震による斜面災害の調査報告

○崎田 晃基・吉河 秀郎 (清水建設)

特別セッション 能登半島地震調査団報告会

P22. 2024 年能登半島地震により町野町寺山地区で発生した大規模地すべりの高解像度 UAV 測量

○佐藤 昌人 (防災科学技術研究所)

土质地質

P23. 地すべりブロック内における亀裂方向の規則性について

○下梶 秀則・山下 大輔・神崎 裕 (中央開発)

P24. 新第三系備北層群分布域で発生した層面断層に起因する法面変状

○岸本 剛・三原 詩織・加藤 弘徳 (荒谷建設コンサルタント)

P25. 泥質岩の最高被熱温度とスメクタイト含有量の関係性

○関山 優希・山本 由弦 (神戸大学)・上間 綾乃・石田 良二 (ジェイアール総研エンジニアリング) 望月 一磨・上野 光 (鉄道・運輸機構)

P26. 打音による岩盤材料区分の AI 判定とその精度検証

○菅田 大輔・古木 宏和・宮村 滋 (日本工営)・寺田 圭宏・松田 知也・坂本 琉 (国土交通省 中部地方整備局)

P27. ハイパースペクトルカメラによる材料区分と目視判定可視化の試み

○古木 宏和・菅田大輔・宮村 滋 (日本工営)・寺田 圭宏・松田 知也・坂本 琉 (国土交通省 中部地方整備局)

P28. 大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査の実施事例

○片岡 達彦・小野 尚哉・原田 あゆ子・萩野 晃平・志賀 直樹 (国際航業)

P29. 河川下流域における軟弱地盤の分布と河道特性

○矢島 良紀・品川 俊介 (土木研究所)

P30. 中止

P31. 29 種類の岩石に対応する AI を用いた岩種判定システムの開発

○奥澤 康一・中岡 健一・板垣 昭 (大林組)

測量・計測

P32. 怒田・八畝地区地すべりにおける UAV 空中電磁探査の差分解析と各種突合データによる比抵抗変化の解釈

○窪田 安打・山本 逸輝・古宮 一典・千葉 伸一・結城 洋一・プラダンオム・岩本 鋼司 (応用地質)・福井 慧※・田所 真路・野波 英輔※ (国土交通省 四国山地砂防事務所 ※現四国地方整備局)

P33. 3次元点群データ解析による植生繁茂状況と崩壊環境との関係の検討

○國丸 泰平・太田 岳洋・竹田 拓己 (山口大学)・山本 道輔 (オーエスエー)

P34. 防災カルテ点検における「着目すべき変状」を想定した点群データ取得に関する屋内検討

○川又 基人・坂本 尚弘・日外 勝仁・倉橋 稔幸 (寒地土木研究所)

P35. 鶴殿石仏群における風化対策の定量評価

○朽津 信明・白石 明香 (東京文化財研究所)

P36. 集水域における迅速な主要溶存成分定量の試み

○伊藤 由紀 (電力中央研究所)

地下水

P37. 地下水観測井戸用パイプのストレナーの形状による堆積土砂量の違い

○植木 岳雪 (帝京科学大学)・佐藤 淳彦・宮山 祐一・花島 浩 (有限会社いどや)

環境地質

P38. 重金属等を含有する掘削岩石を用いた実大盛土実験における重金属等の溶出挙動について (その2)

○門間 聖子・宮口 新治・北畠 義裕・山口 尚宏・佐藤 敏雄 (応用地質)

P39. 施工後11年経過した自然由来重金属等対策盛土の溶出実現象の解析

○山崎 秀策・遠藤 のぞみ・倉橋 稔幸 (寒地土木研究所)

P40. 酸性水の発生に時間を要する岩石の土研式雨水曝露試験を用いた検討

○鈴木 望夢・昆 周作・佐藤 真・品川 俊介 (土木研究所)

P41. 宮津花崗岩の金属溶出特性

○風見 健太郎・原 伸匡 (エイト日本技術開発)

P42. 再生可能エネルギーと応用地質

○船山 淳 (パシフィックコンサルタンツ)・竹村 貴人 (日本大学)・大谷 晃 (八千代エンジニアリング)・堀 信雄 (日さく)・塩崎 功 (エンジニアリング協会)・清崎 淳子 (クロスエンジニアリング)・佐伯 佳美 (ダイエーコンサルタント)・磯部 有作 (イメージアイコン)・太田 岳洋 (山口大学)・宇佐美 光宣 (大日本ダイヤコンサルタント)・稲垣 秀樹 (環境地質)

社会貢献

P43. AR及びIT融合技術の応用地質分野への適用につい

て

○宮原 智哉・本間 亮平・青山 夏海・笠原 健太 (アジア航測)

P44. 応用地質学教育普及委員会の活動報告ー第10回 応用地質技術入門講座の成果と課題ー

○金山 健太郎 (大日本ダイヤコンサルタント)・大葉 勝裕 (J-POWER 設計コンサルタント)・原 勝宏 (川崎地質)・法橋 亮 (建設技術研究所)・味野 晴佳 (応用地質)・応用地質学教育普及委員会

P45. 徒歩見学会「街中ジオ散歩」によるアウトリーチ

橋本 智雄 (中央開発)・味野 晴佳 (応用地質)・原 弘 (JR 東日本コンサルタンツ)

P46. フォトコンテストによるアウトリーチ活動ー成果と展望ー

○森山 哲朗 (サンコーコンサルタント)・味野 晴佳 (応用地質)・橋本 智雄 (中央開発)・田中 姿郎 (電力中央研究所)・長谷川 淳 (鉄道総合技術研究所)・日本応用地質学会事業企画委員会

P47. 地球科学的現象に対するリスク評価とリスクコミュニケーション

○吉野 瑛師・太田 岳洋 (山口大学)